

普及のひろば



スタブルカルチ施工実演会（令和7年10月）

力強い地域営農の実践に向けて

酒田農業技術普及課 課長補佐

五十嵐 司

昨年は6月下旬から8月上旬にかけて記録的な高温・少雨となり、3年連続で異常気象に見舞われました。生産者の皆様をはじめ関係機関の皆様が連携して高温や水不足への対策にご尽力いただいたことに、心より感謝申し上げます。

県では、この取組みを踏まえ、農作物への影響や実践された状況を把握するとともに情報共有しながら、各種マニュアルを活用した対策等の伝達を速やかに実施してまいります。異常気象が常態化する中、常に新しい情報を収集・発信し、基本技術を励行することが、安定した収量・品質の維持につながると考えます。

酒田農業技術普及課では、作物、果樹、野菜、花き、畜産、農村資源、農業経営の各専門分野で、課題解決に向けた11の普及指導計画を作成し、地域営農の改善を図るとともに、気候変動下で持続的な営農を支援するため、皆様と密に連携・協力して取り組んでまいります。

農業を取り巻く環境は常に変化しており、農政のみならず世界情勢や社会情勢の変化にも柔軟かつ迅速に対応していく必要があります。

今年の干支は60年に一度の丙午（ひのえうま）で、「頂点・成熟・繁栄・力強さ・スピード・進展」を象徴します。生産者とともに関係機関と連携しながら、力強い地域営農の実践を支援してまいります。

令和7年度 普及活動トピックス

～人、魅力、農村づくりの推進～

作物

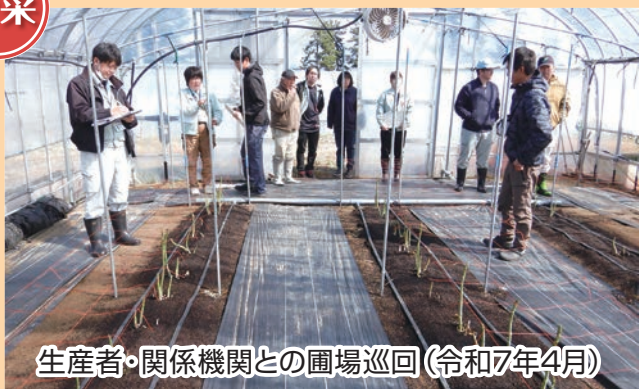


青田巡回指導(令和7年6月)

気候変動に対応した「つや姫」の 高位安定生産

近年、気候変動が常態化する中、基本技術の徹底や適期作業の実施がより一層重要になっています。「スマートつや姫」の普及拡大やLINEによる情報発信、作土深改善の実証等を行いながら、気候変動に負けない「つや姫」の高位安定生産を支援しています。

野菜



生産者・関係機関との圃場巡回(令和7年4月)

ハウスアスパラガスの生産拡大

管内では、ハウスアスパラガスの生産が拡大しています。しかし、近年の気候変動により生産量が安定しないため、当課ではそれらに対応した収量確保技術の確立・普及等を行いながら、新規栽培者の早期技術習得支援にも力を入れています。今後も関係機関と連携し生産振興を図って行きます。

花き



花芽の着生効果について検討(令和7年10月)

さくら「啓翁桜」の安定生産

啓翁桜の栽培では花芽を着生させるために「環状剥皮」を行います。枝を1本ずつ処理する労力がかかるため、省力的な植物成長調整剤による効果の検証と普及に取り組んでいます。展示圃で開催した現地検討会には多くの生産者が集まり、効果について活発な意見交換が行われました。

産地研究室の研究紹介

当室では平成22年度から将来の温暖化を見据え、かんきつ類の適応性を調査しています。この中で「すだち」は他の樹種よりも寒さに強く、収量が安定していることが明らかとなりました。今後は寒冷地で栽培する場合の着果管理や貯蔵方法についての試験を継続することで、庄内の新たな特産果樹としての可能性を広げていきます。



果樹



ぶどう出荷組合による先進地視察(令和7年8月 村山市)

シャインマスカットの栽培技術向上

シャインマスカットは全国的に栽培が拡大しているため、より一層の高品質生産が求められています。

当課では、技術の習得度に関するアンケートや、優良生産者の管理技術の聞き取りなどを行い、その結果を講習会や現地指導に反映させながら、技術の早期習得を支援しています。

畜産



「山形飼糶138号」栽培技術意見交換会(令和7年8月)

WCS専用品種「山形飼糶138号」の普及・推進

稲発酵粗飼料(WCS)に適した専用品種の高収量安定生産のため、生産組織や新規生産者を対象に意見交換会を実施しました。併せて、耕畜連携への関心が高まっていることから、バイオガス発電から副次的に生産されるメタン発酵消化液を肥料として活用した栽培の検討も行っています。

経営



刈屋梨新規栽培研修会(令和7年8月)

新規就農者の課題解決

新規就農者の個別相談に対応し、経営初期段階の課題解決に向けて、技術・経営の両面から支援を行っています。地域の農業士等とも連携しながら、同じ品目を栽培する新規就農者を集めた研修会を実施することで、仲間づくりにも力を入れています。

資源活用



加工技術研修会の様子(令和7年8月)

新たな商品開発～加工技術研修会～

県産農産物を活用した特徴的な加工品づくりを支援するため、焼き菓子に混ぜ込んでも溶け出さない、「耐熱ゼリー」について研修会を行いました。

商品開発や改善に取り組みたい方、これから農産加工を始めたい方の相談を随時受け付けています。

令和7年の高温少雨を振り返って

令和7年はこれまでにない高温少雨となり、7月1日から27日のアメダス(山形、新庄、米沢、酒田)では、平均気温は平年より3.8～4.4℃高く、降水量は平年の2～15%と少なく、日照時間は平年の157～166%となりました。管内では農作物への影響が心配されたことから、現場では様々な対応が行われました。水稻では、水不足対策として番水や飽水管理により用水を効率的に活用しました。園芸品目では、日焼けや生育停滞、着果不良が懸念され、遮光資材の展張、屋根面散水、灌水などで対応しました。これらの対応により甚大な災害は回避されましたが、今後も気候変動に留意し、適切な対策を推進してまいります。



やまがたアグリネット

<https://agrin.jp/>

気象センサーと連携し、低温等の警報をメールでお知らせします。

やまがたアグリネット



「もしも」のピンチに
「いつも」の安心を

収入保険

【収入保険に関するお問い合わせ】
NOSAI山形 庄内支所 収入保険課
TEL: 0234-91-1553

受賞おめでとうございます

✳令和7年度山形県ベストアグリ賞 農事組合法人 アグリ南西部（遊佐町）

遊佐町稲川・西遊佐地区において農地を集積し、水稻を主体とする地域営農の中心的な担い手として活動しています。休耕畑を借り入れて園芸品目に取り組み、複合化と周年化を図りながら雇用創出と労働力の定着を図っています。法人構成員の高齢化に備え、若手正社員2名を雇用し法人が直接管理する「法人直轄田」を設置しています。地元の若者や県外からの移住者等を積極的に雇用し、人材育成にも力を入れています。



(農) アグリ南西部役員
(前列右から2番目が石垣代表)



法人独自の人材育成研修会

新たに知事から認定された農業士を紹介します



酒田地区農業士会では、指導農業士17名、青年農業士8名の会員が、地域農業の振興と発展を図るために、将来を担う若手農業者指導・育成等の活動を行っています。

【指導農業士】
つなぶち ちづこ
網淵 千鶴子 氏
(遊佐町比子)

メロン、大根、かぶ、長芋、ごぼうなどの畑作経営に取り組んでおり、道の駅ふらっと「ひまわりの会」の副会長を務めるなど、地域のリーダーとして農業振興に貢献しています。

農業青年クラブ「酒田アグラー」会員募集中

酒田市、遊佐町の農業青年12名（30～40代）で活動しています。会員は、水稻、ねぎ、アスパラガス、ミニトマト、さつまいも等を栽培する多様なメンバーです。新しい栽培技術や先進的農業法人の視察研修、県内外の農業青年クラブとの交流を通し、親睦を深めながら技術力・経営力の向上を目指しています。農業に取り組む同世代とのネットワークを広げるチャンスですので、ぜひご入会ください！



産地研究室のハウスアスパラガス栽培を視察（令和7年6月）

庄内砂丘メロン
研修大会2026

日時 令和8年2月4日(水)
13:30～15:30

会場 三川町子育て交流施設
テオトル(三川町押切新田)

近年問題になっている、つる割病対策等について紹介します。

稲作LINE

米づくり情報をLINEで受け取れます！（4月頃より順次発信）

友達登録は
コチラ▶



農薬適正使用のポイント

- ☆農薬の登録状況と詳しい使い方を確認します。
- ☆適切な保護具をしっかりと着用します。
- ☆近隣の方に散布スケジュールを周知し、飛散防止を徹底します。
- ☆農薬使用履歴を記帳します。
- ☆きちんと後片付けし、安全な場所に保管します。

防除基準の
購入について

令和8年度山形県農作物病害虫防除基準・除草剤使用基準・植物成長調整剤使用基準を適切かつ効率的な防除対策の参考資料としてご利用ください。
購入のお問い合わせは、山形県植物防疫協会までお願いします。(TEL:023-687-8700)